

**2013年3月期
第3四半期決算説明資料**

**2013年2月4日
株式会社IHI**

2013年3月期 第3四半期連結決算の概要

(億円)

	'11年度3Q	'12年度3Q	増 減
受 注 高	8,615	8,242	▲ 373
売 上 高	8,323	8,681	358
営 業 利 益	274	244	▲ 29
経 常 利 益	234	242	7
税金等調整前 四半期純利益	395	341	▲ 54
四 半 期 純 利 益	167	179	12

特段の記載がない限り、各項目の数値は億円未満を切り捨てて表示している。

営業外損益及び特別損益

(億円)

	'11年度3Q	'12年度3Q	増 減
金融収支	▲ 12	▲ 14	▲ 1
為替差損益	▲ 25	27	53
持分法による投資損益	4	9	4
その他	▲ 5	▲ 24	▲ 19
営業外損益	▲ 39	▲ 2	36
特別損益	160	98	▲ 61

'12年度3Qの特別損益(98億円)の主な内訳 :

固定資産売却益	139億円
投資有価証券評価損	▲30億円
関係会社損失引当金繰入額	▲6億円
減損損失	▲3億円

セグメント別 受注高

(億円)

	受 注 高		
	'11年度3Q	'12年度3Q	増 減
資源・エネルギー	2,204	2,097	▲ 106
船舶・海洋	493	1,161	668
社会基盤	1,708	554	▲ 1,154
物流・産業機械	1,049	1,216	167
回転・量産機械	1,243	1,226	▲ 17
航空・宇宙	1,789	1,766	▲ 22
その他	732	764	31
調整額	▲ 604	▲ 545	58
合 計	8,615	8,242	▲ 373

セグメント別 売上高・営業利益

(億円)

	売上高			営業利益		
	'11年度3Q	'12年度3Q	増減	'11年度3Q	'12年度3Q	増減
資源・エネルギー	2,120	2,096	▲ 24	39	42	3
船舶・海洋	1,289	1,173	▲ 115	92	65	▲ 27
社会基盤	753	635	▲ 118	58	27	▲ 31
物流・産業機械	898	1,247	348	8	46	37
回転・量産機械	1,212	1,236	23	83	30	▲ 52
航空・宇宙	1,976	2,219	242	27	97	70
その他	750	735	▲ 15	15	12	▲ 3
調整額	▲ 679	▲ 663	16	▲ 51	▲ 77	▲ 25
合計	8,323	8,681	358	274	244	▲ 29

営業利益の前年同期比増減要因(セグメント別)

(億円)

	売上高の 増 減	工事採算 の変動	資材費の 変 動	為替の 変 動	販管費の 変 動	合 計
資源・エネルギー	▲ 4	27		6	▲ 26	3
船舶・海洋	▲ 18	▲ 23	9		5	▲ 27
社会基盤	▲ 24	▲ 11	2		2	▲ 31
物流・産業機械	37	10			▲ 10	37
回転・量産機械	5	▲ 56			▲ 2	▲ 52
航空・宇宙	27	40		2	2	70
そ の 他	▲ 2	6			▲ 7	▲ 3
調 整 額		▲ 21			▲ 5	▲ 25
合 計	21	▲ 28	11	8	▲ 41	▲ 29

セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

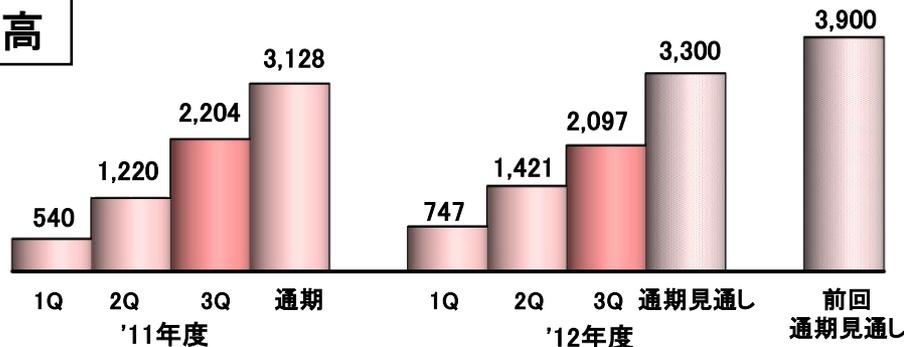
資源・エネルギー

(億円/各期の金額は累計)

主要製品:ボイラ, ガスタービン, 原子力機器, 貯蔵設備, 化学プラント,
原動機プラント, F-LNG

前回通期見通し:2012年11月2日公表の業績予想数値

受注高

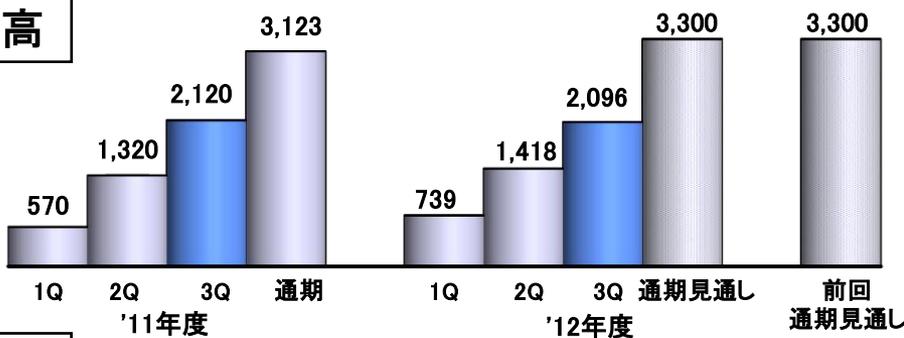


<対前第3四半期 増減内訳>

【受注高】

ボイラ, 原子力機器の減少により,
前年同期比▲106億円(▲4.8%)となった。

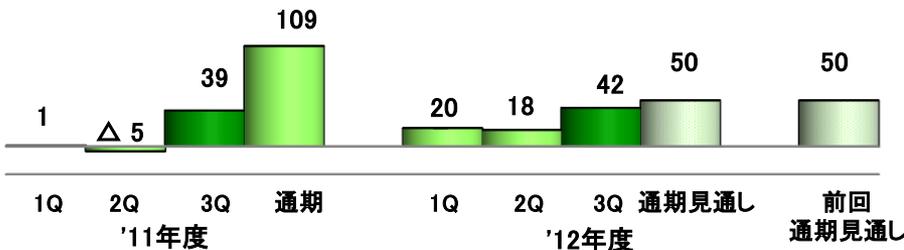
売上高



【売上高】

原子力機器で増収となったものの,
貯蔵設備, 原動機プラントの減収により,
前年同期比▲24億円(▲1.2%)の減収となった。

営業利益



【営業利益】

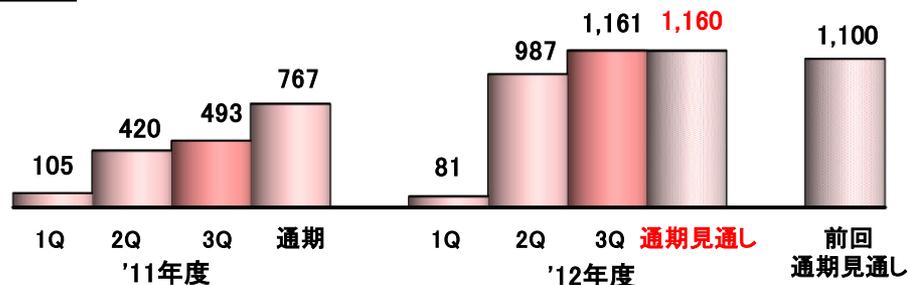
販管費の増加や一部のボイラ工事の採算悪化が
あったものの,
原子力機器の増収及び採算性向上により,
前年同期比+3億円(+7.7%)の増益となった。

(億円/各期の金額は累計)

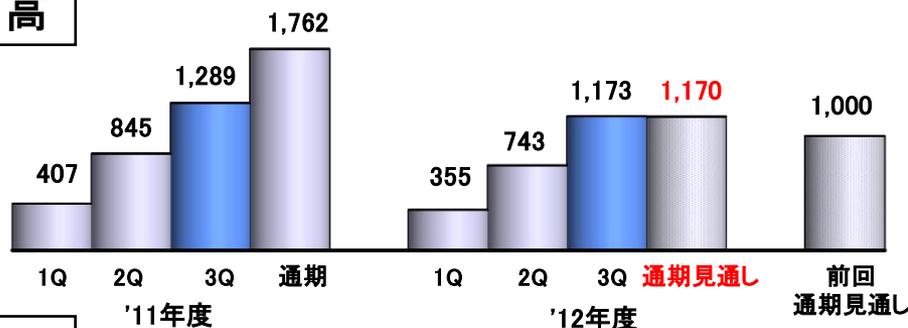
主要製品:新造船, 修理船, 海洋構造物

前回通期見通し:2012年11月2日公表の業績予想数値

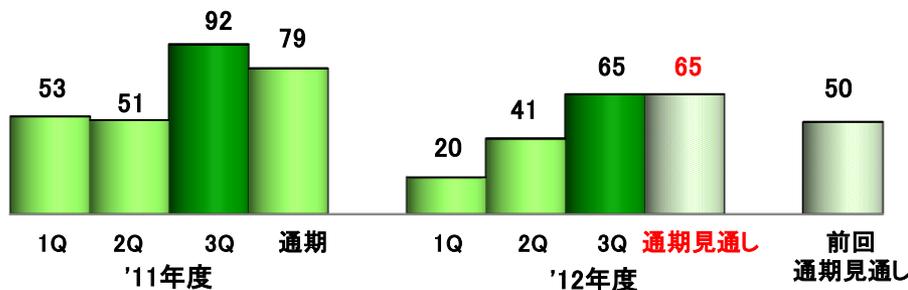
受注高



売上高



営業利益



<対前第3四半期 増減内訳>

【受注高】

・艦艇を含む新造船5隻(艦艇1隻, タンカー1隻, バルクキャリア3隻)の受注により, 前年同期比+668億円(+135.6%)となった。
 ・前年同期における受注隻数は, 7隻(タンカー1隻, バルクキャリア5隻, 電気推進船1隻)であった。

【売上高】

新造船, 修理船が減収となり, 前年同期比▲115億円(▲9.0%)の減収となった。

【営業利益】

新造船, 修理船の減収により, 前年同期比▲27億円(▲29.2%)の減益となった。

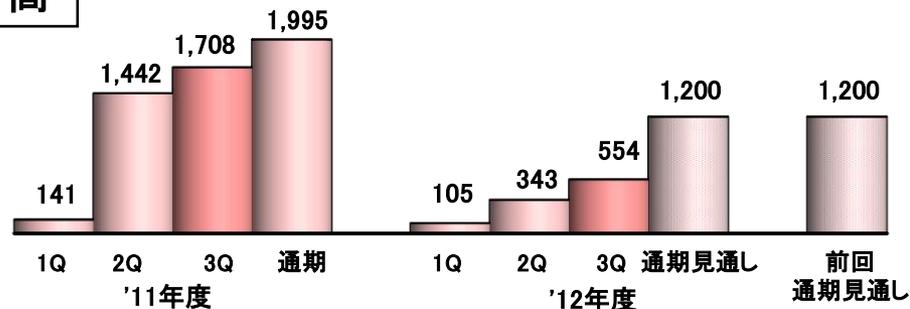
(注)通期見通しは, 第3四半期までの実績から端数を調整している。

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 橋梁, 建材製品, 船用機械, シールド, 不動産販売・賃貸

前回通期見通し: 2012年11月2日公表の業績予想数値

受注高

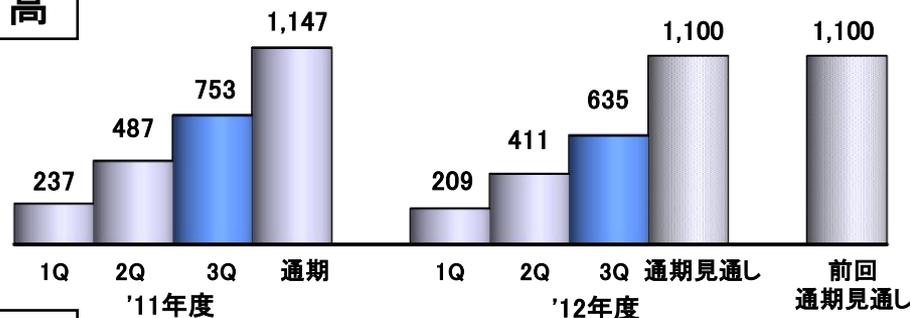


<対前第3四半期 増減内訳>

【受注高】

橋梁で前年同期に大型案件(イズミット湾横断橋: トルコ)を受注した影響により, 前年同期比 **▲1,154億円(▲67.6%)** となった。

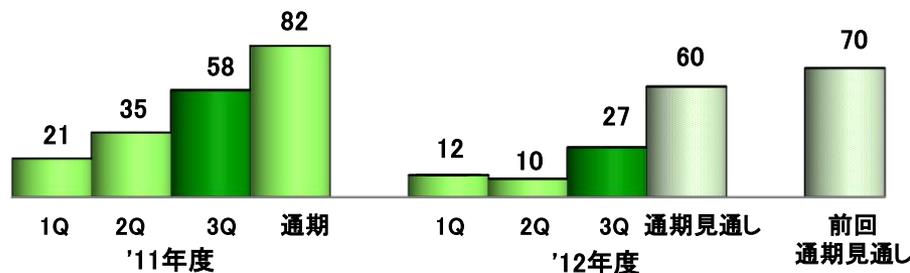
売上高



【売上高】

船用機械, シールドの減収により, 前年同期比 **▲118億円(▲15.7%)** の減収となった。

営業利益



【営業利益】

船用機械, シールドの減収により, 前年同期比 **▲31億円(▲52.7%)** の減益となった。

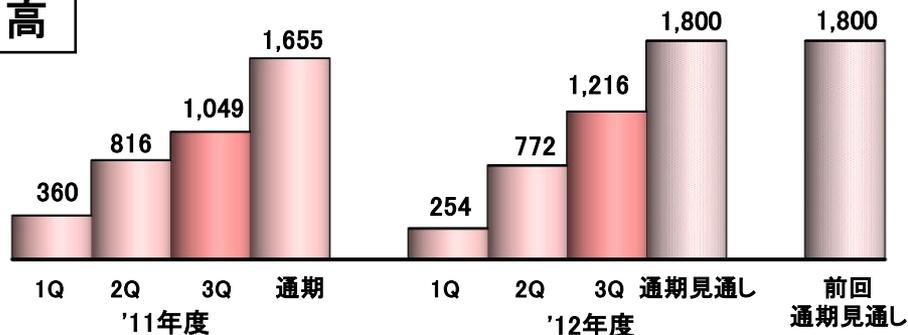
物流・産業機械

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 運搬機械, 物流システム, 駐車装置, 交通システム, 製鉄機械, 製紙機械, 環境装置

前回通期見通し: 2012年11月2日公表の業績予想数値

受注高

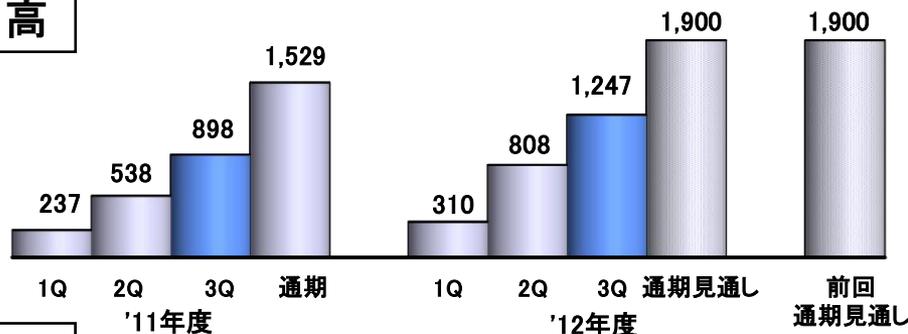


<対前第3四半期 増減内訳>

【受注高】

物流システムが減少したものの、製紙機械、運搬機械、駐車装置が増加したことにより、前年同期比 +167億円(+15.9%)となった。

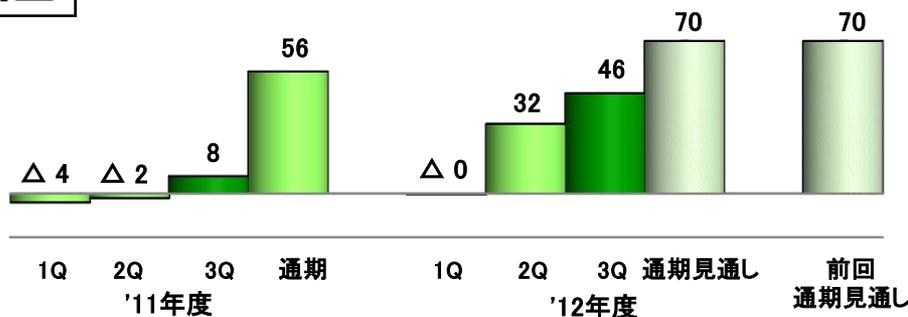
売上高



【売上高】

製鉄機械、物流システム、交通システムの増収により、前年同期比 +348億円(+38.8%)の増収となった。

営業利益



【営業利益】

販管費の増加があったものの、製鉄機械、物流システム、交通システムの増収により、前年同期比 +37億円の増益となった。

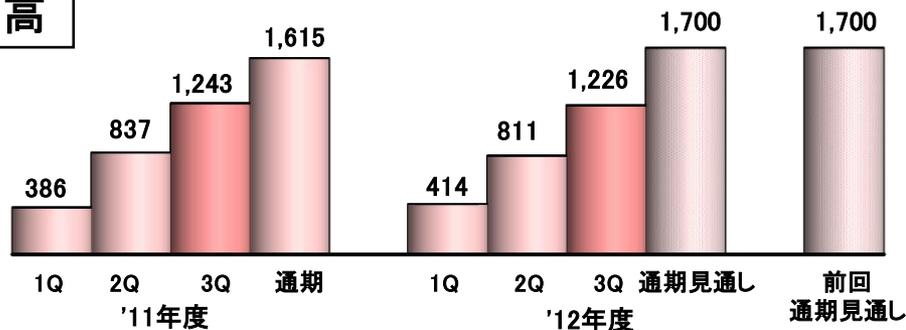
回転・量産機械

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 圧縮機, 分離装置, 車両用過給機

前回通期見通し: 2012年11月2日公表の業績予想数値

受注高

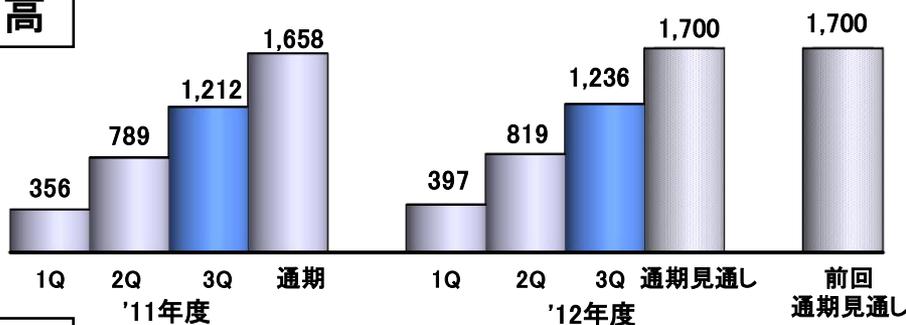


<対前第3四半期 増減内訳>

【受注高】

車両過給機で増加したものの、圧縮機、分離装置で減少したため、前年同期比 ▲17億円(▲1.4%)となった。

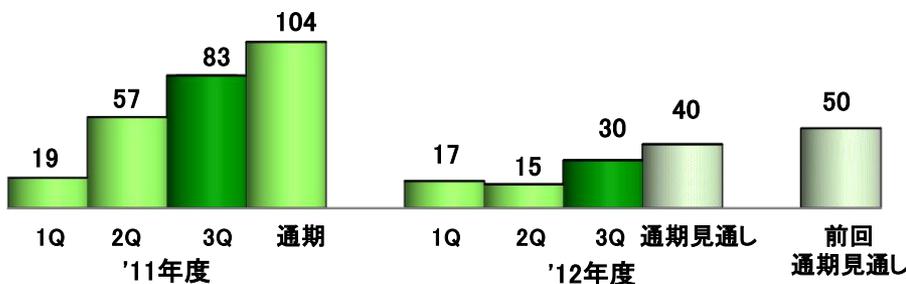
売上高



【売上高】

分離装置で減収となったものの、車両過給機が増収となったことにより、前年同期比 +23億円(+2.0%)の増収となった。

営業利益



【営業利益】

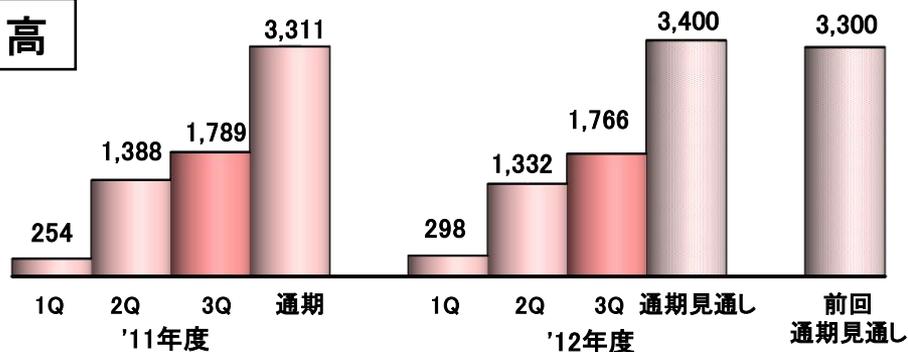
分離装置の減収及び車両過給機の不具合対応費の発生、圧縮機の採算性悪化により、前年同期比 ▲52億円(▲63.6%)の減益となった。

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 航空エンジン, 宇宙開発関連機器, 防衛機器システム

前回通期見通し: 2012年11月2日公表の業績予想数値

受注高

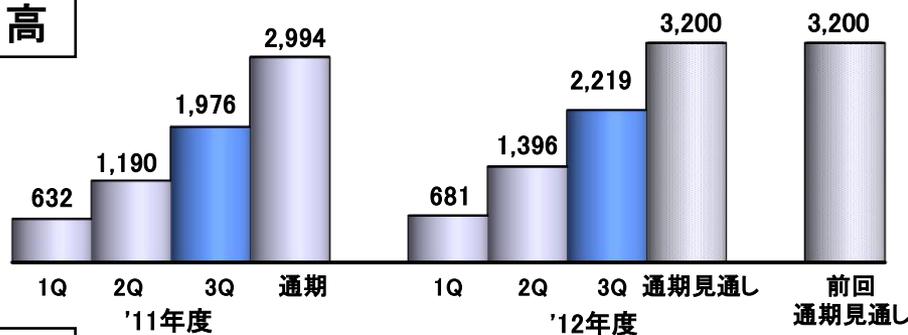


<対前第3四半期 増減内訳>

【受注高】

航空エンジン, 防衛機器システムで減少したため, 前年同期比 ▲22億(▲1.3%)となった。

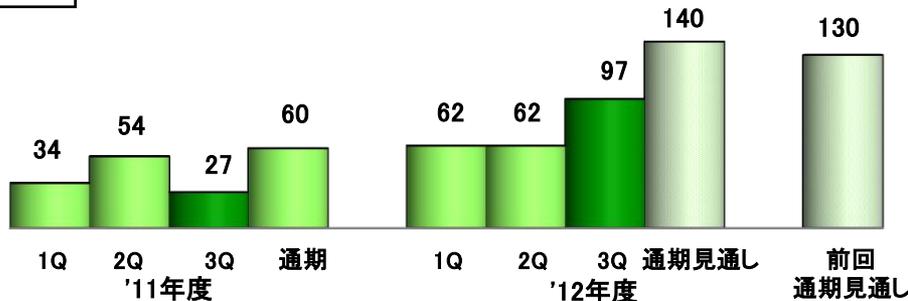
売上高



【売上高】

民間機用を中心とした航空エンジン, 防衛機器システムが増収となり, 前年同期比 +242億円(+12.3%)の増収となった。

営業利益



【営業利益】

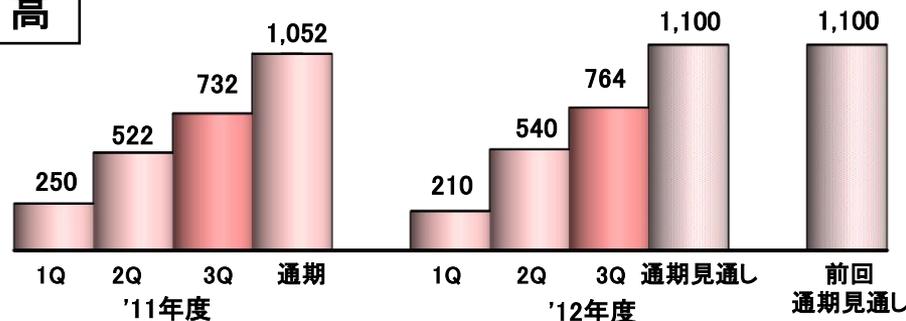
航空エンジンの増収や採算性向上により, 前年同期比+70億円の増益になった。

(億円/各期の金額は累計)

主要製品:ディーゼルエンジン, 農業機械, 建設機械, その他サービス業

前回通期見通し:2012年11月2日公表の業績予想数値

受注高

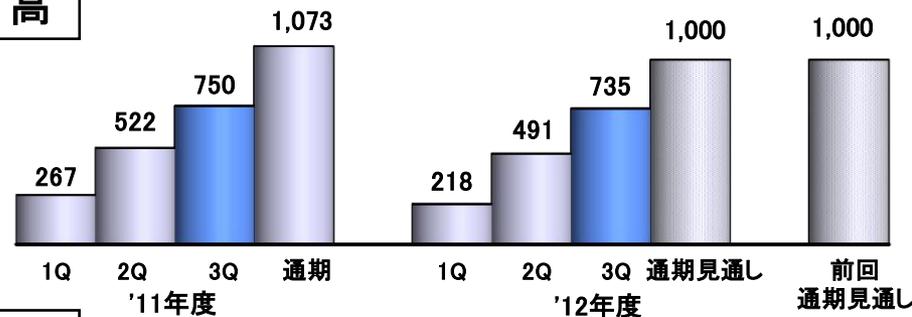


<対前第3四半期 増減内訳>

【受注高】

ディーゼルエンジン, 農業機械が減少したものの, 明星電気株を新たに連結したことにより, 前年同期比 +31億円(+4.3%)となった。

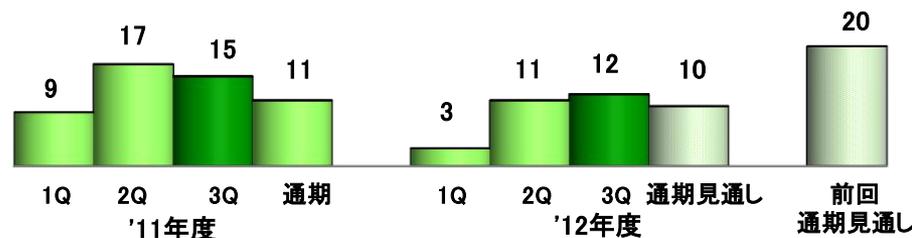
売上高



【売上高】

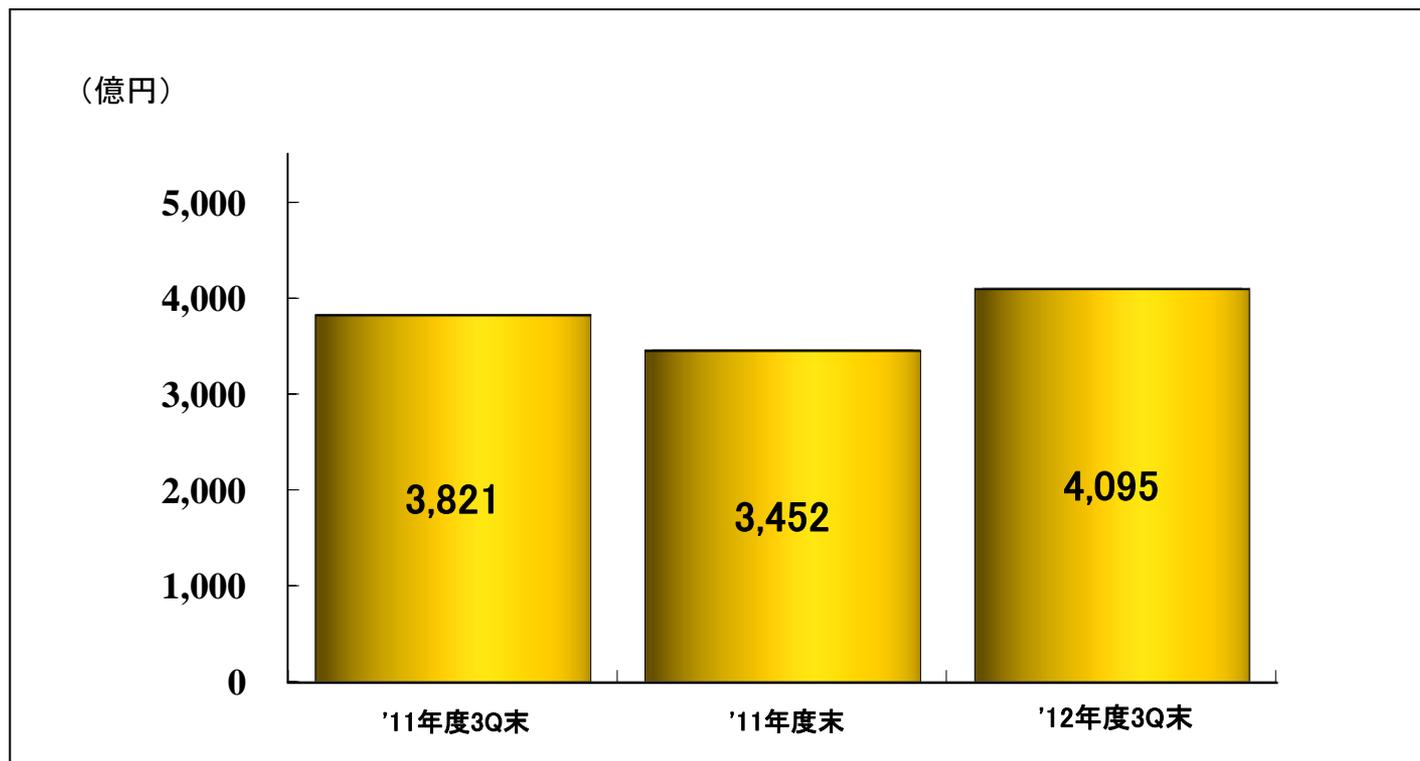
明星電気株の増収効果はあったものの, ディーゼルエンジン, 農業機械の減収により, 前年同期比 ▲15億円(▲2.1%)の減収となった。

営業利益



【営業利益】

ディーゼルエンジン, 農業機械の減収や 販管費の増加により, 前年同期比 ▲3億円 (▲22.2%)の減益となった。



有利子負債残高には、リース債務残高('11年度3Q末:149億円, '11年度末:156億円, '12年度3Q末:191億円)を含む。

2013年3月期 通期連結業績見通し

前提為替レート
(第4四半期以降)

米ドル 85円
ユーロ 110円

(億円)

	前回見通し ('12年度通期) A	今回見通し ('12年度通期) B	前期実績 ('11年度通期)	増 減 B-A
受 注 高	13,300	12,800	12,696	▲ 500
売 上 高	12,400	12,500	12,218	100
営 業 利 益	350	350	433	0
経 常 利 益	280	280	417	0
当 期 純 利 益	190	230	238	40

セグメント別 連結業績の見通し

前回見通し:2012年11月2日公表の業績予想数値

(億円)

	今回見通し			対前回見通し 増減		
	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
資源・エネルギー	3,300	3,300	50	▲ 600	0	0
船舶・海洋	1,160	1,170	65	60	170	15
社会基盤	1,200	1,100	60	0	0	▲ 10
物流・産業機械	1,800	1,900	70	0	0	0
回転・量産機械	1,700	1,700	40	0	0	▲ 10
航空・宇宙	3,400	3,200	140	100	0	10
その他	1,100	1,000	10	0	0	▲ 10
調整額	▲ 860	▲ 870	▲ 85	▲ 60	▲ 70	5
合計	12,800	12,500	350	▲ 500	100	0

(注) 船舶・海洋事業については、統合日(2013年1月1日)までの実績を記載している。

IHI

Realize your dreams

ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。